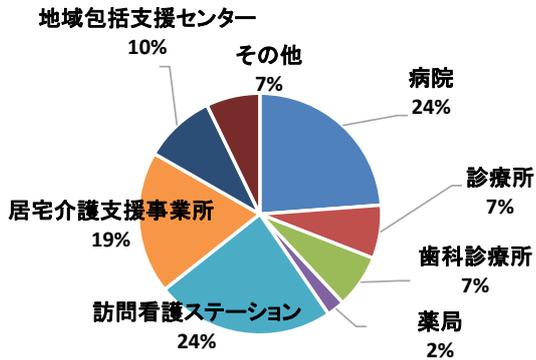


令和6年度南区多職種連携研修会 アンケート結果

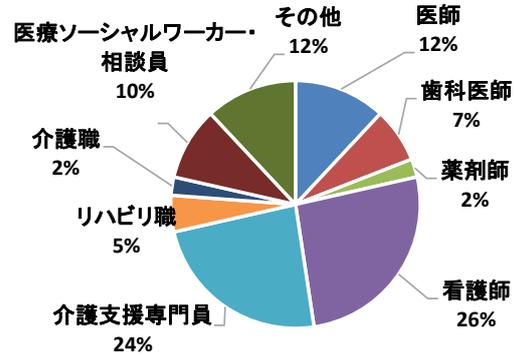
令和6年10月17日(木)開催

グループワーク参加44名(参加者42名、パネリスト3名)
アンケート回答42名(回収率95%)

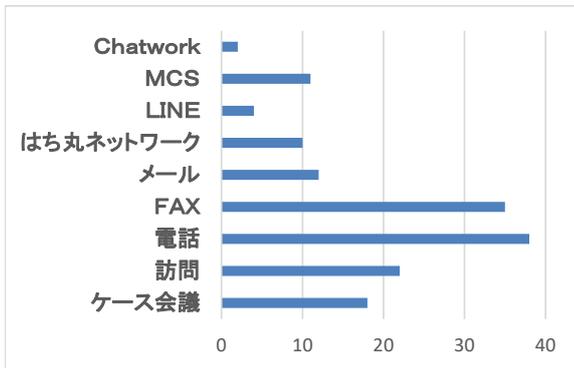
問1-1.所属



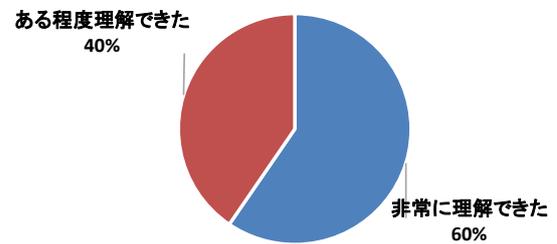
問1-2.職種



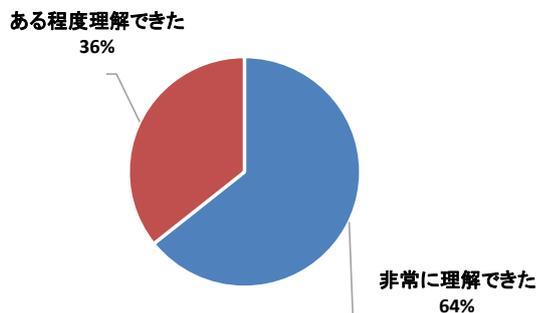
問2.情報共有の内容 (複数回答)



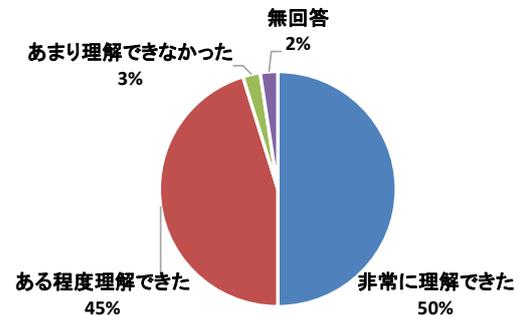
問3①.講義の内容



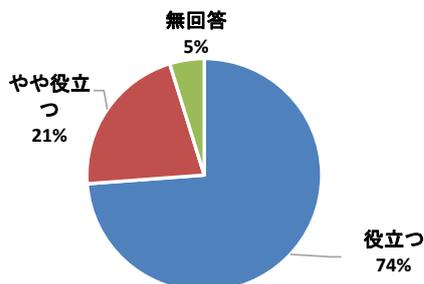
問3②.座談会の内容



問3③.体験会の内容



問3④.ICT連携の意義や必要性を考える機会として役立ちましたか



問3①②. 講義・座談会について

- ・連携の流れを知ることが出来ました。
- ・説明がわかりやすかったです。
- ・情報共有の方法があらためて多いと思いました。
- ・はち丸ネットワーク活用のメリット、デメリットがわかりやすく参考になりました。
- ・事例がとてもわかりやすかったです。
- ・多職種の視点がよくわかりました。

問3③. 体験会について

- ・以前に利用していたが、看護・介護ツールなど新たな機能追加を知る機会になりました。
- ・体験してみて、チャット機能の操作が簡単でした。
- ・思ったより使いやすいツールだと思いました。

問4. その他、本日の研修会について

- ・はち丸ネットワークを知ることができてよかったです。
- ・どんどんはち丸ネットワークを活用していきたい。
- ・導入につきぜひ御相談していきたいと考えております。
- ・ICTツールを一本化するよう強めに要請はできないのでしょうか。
- ・ICTツールについて考える機会をあたえて下さり、ありがとうございました。
- ・よいシステムなので利用していきたいと思いました。
- ・院内で活用に向けてすすめていきます。
- ・改めて考える機会となりました。
- ・活用方法を知ることができて勉強になりました。
- ・使いなれているアプリと同様に使用できるとわかり、ハードルが下がりました。
- ・どのくらいはち丸ネットワークが南区で活用されているか知りたかったです。
- ・もう少し導入の流れを知ることが出来ると良いと思いました。
- ・自分自身が細かな内容を知らなかったこともありますが、もっとはち丸ネットワークを知る機会があるとよいと思いました。
- ・はち丸ネットワークについて初めて知ることも多く、自分自身の理顔を深めていきたいと思いました。
- ・いろいろなツールで連携をとっているんだなと思いました。
- ・ケアマネとしては職員の管理上、電話等のやりとりからケアマネジャーが今、どんな支援をしているのか把握します。すべてがネットワーク上でのやりとりとなると、その把握が難しくなる可能性が高いです。ハード機器導入のお金がないので補助制度を整えてほしいです。
- ・旗振り役をいきいきやケアマネと言われていましたが、介護側だけで任されるのは少し荷が重いのではと思います。各職種ごとで理解し、多職種で一緒にすすめていけるとよいと思います。
- ・色々な職種の方と話ができてよかったです。
- ・またこのような研修会に参加したいと思いました。
- ・多職種で顔の見える交流、情報共有ができてよかったです。

問5. 連携の課題や課題解決に向けて今後取り上げてほしい研修会内容について

- ・ACPの内容をつなげていく研修会を開催してほしいです。
- ・多職種の方と交流会をしてほしいです。
- ・BCP、横のつながりについての研修会をお願いします。

● なぜ活用できないの？！

- ・活用の方法を知らない、よくわからない。
- ・パソコンに詳しい職員が少ないため利用に躊躇する。
- ・セキュリティが厳しく最初のハードルが高い、スタートでつまづく。
- ・30分くらいでセットアップできるがログインするのに手間がかかる。(WEB版)
- ・同意書を得るのに苦労する。
- ・情報漏洩が心配である。
- ・率先した活用者がいない。
- ・入力する時間がない、業務が増える。
- ・リアルタイムに記載できるのはよいが、確認のタイミングや休日に連絡が入った場合の対応が不安である。
- ・電子カルテが連携していない。(二重手間)
- ・どの先生、事業所が登録しているかわからない。
- ・はち丸ネットワークを知らない医療機関や知らない人にどう伝えるといいか迷う。
- ・関係事業所すべてが登録していないと活用しきれない、個別のFAXや電話が必要になる。
- ・医師は訪問看護師と情報共有する場面が多いが、連携する事業所それぞれのICTを利用している。
- ・所属先の判断で導入できない場合も多い。
- ・iPadなどの導入費用がかかる。

● どうしたら活用できる！？

- ・名古屋市で登録しないといけない決まりになるとよい。
- ・導入費の補助があるとよい。
- ・活用を引っぱっていく人がいるとよい。(旗振り役)
- ・ケアマネジャーにも要支援段階から報酬が設定されると活用がすすむ。
- ・同意書が気軽にとれるとよい。
- ・慣れていくことが必要である。
- ・活用のルールが明確にあるとよい。
- ・最近はじめたがLINEのように活用できる。
- ・アプリ版は非常に楽である。(VPN接続不要)
- ・投稿したときは何らかの返事があるとよい。(返事がないと活用に消極的になってしまう。)
- ・ショートメールで情報共有した時は楽だったので、チャットで繋がれるとよい。
- ・病院によってカルテをスクリーンショットで載せてくれる先生もある。
- ・ケアマネジャーさんから話があれば、どんどん導入していきたい。
- ・訪問入浴は全身状態の確認もするため関係者に提供できる情報はとても多い。
- ・活用できるようセッティング全ての支援をしてもらえるとよい。
- ・連携加算の算定の要件として、月1回の報告として活用できるのではないか。
- ・1人1台のデバイスが持てたらいい。
- ・継続し研修会を開催するなど、認知度を上げる取り組みをしていくとよい。
- ・成功体験を共有してもらい、活用するメリットを周知していくとよい。
- ・デジタルに慣れていく取り組みをしていくとよい。